



とくしま動物園 じゅういさんのお話！

12月2日（月）、とくしま動物園の獣医師古田さんをお招きし、「じゅういさんのお話（お仕事について）」を2年生と3年生が聞きました。
古田さんからは、次のようなお話を聞かせて頂きました。

① 動物園の獣医さんはどんな仕事をしているの？

動物園の動物のけがや病気の治療をしているよ。
動物もみんなと同じように、けがをしたり、病気になるんだよ。

② とくしま動物園には、どんな動物がいるの？

ほにゅうるいや鳥類・は虫類などをあわせて80種類、400頭の動物がいて、その動物が住んでいる地域ごとに飼育しているんだよ。

③ 動物園の獣医さんの大変なことは何？

簡単にさわることができなくて、捕まえないと診察も出来ない動物が多いことだよ。だから、動物園には、いろんな網があるんだよ。

④ 動物は病気になるの？

みんなと同じように病気になったり、けがをするよ。だから、治療に使う道具はみんなが病気やけがになったときに使う道具と同じなんだよ。
例えば、鼻水が止まらなくなったワオキツネザル。麻酔をかけて眠らせて診察や治療をするんだよ。また、薬にご飯や大好きな果物とはちみつを混ぜて飲んでもらうこともあるんだよ。

⑤ キリンやライオンはどうするの？

ライオンやオオカミのような動物は、麻酔銃や吹矢を使って麻酔をして眠ってもらって治療をするんだよ。キリンのような本当に体の大きな動物は、麻酔をするだけで死んでしまうことがあるよ。だから、なるべく麻酔をしなくていいように、飼育員さんと協力して治療をする練習をするんだよ。

⑥ 最後に、加茂谷にいる野生動物のお話をして頂きました。

加茂谷にも住んでいるけど、なかなか見られない動物を紹介して頂きました。その動物とは、「ムササビ」だよ。「ムササビ」は、りすの仲間、夜に活動するよ。木から木へ飛びまわる日本にしかいないほ乳類だよ。

※古田さんからは、動物園のお話をたくさんして頂きました。さらに、動物を捕まえたり、診察したりする実際の道具も見せて頂きました。
ありがとうございました。

<詳しくは、2年生と3年生の子どもたちに聞いてください。>

